

ボランティアの町民団体 しらおい防災マスター会 札幌管区気象台長表彰を受賞

情報ノート

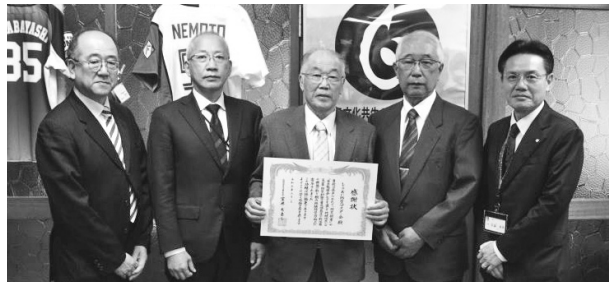
同会の吉村智会長、民部吉治事務局長が6月7日、役場を訪れ、大塩英男町長に受賞の報告をしました。

同会は、北海道地域防災マスター講習会で認定を受けた町民で構成。同好会を前身に平成26年に発足。現在は30代から80代までの活動会員約50人。

長年にわたる防災授業や自主勉強会などを通し、地域住民への防災知識の普及・啓発に取り組み、地域防災力向上への寄与が評価されました。同賞の自主防災組織の受賞は初。

吉村会長は「防災は大切、と思っているが何をしたらいいかわからない、という地域の人の手助けを続けていきたい」と、受賞を励みに今後も活発な活動を誓っていました。大塩町長は「出前講座や防災訓練などで本当に多くの尽力をいただいている。協力し合い町としても防災力向上に努めたい」と話していました。室蘭地方気象台の新出祥文台長、胆振総合振興局の松本正司副局長からも祝辞が贈られました。

この日、委託観測所・森野地域気象観測所の維持に従事する町が、気象庁長官表彰を受賞したことも伝達されました。



(写真右から) 大塩町長、民部事務局長、吉村会長、新出室蘭台長、松本副局長

社会福祉法人白老宏友会 生活介護事業所「みらいえ」

6月26日オープン

地域共生の新交流拠点 ジェラテリア「ミナ ピエノ」(作業棟)を新設

利用者、スタッフが作った野菜や果物のジェラート、ソフトクリームなどを販売



同所のビニールハウスや地物で栽培・収穫したイチゴやトマト、ナスなど果物や野菜を、加工から販売までの6次化を目指し新設しました。みらいえ管理者の間新平さんは「何より利用者さんの楽しみ、やりがいにつながり、まちの人との交流も図れます。利用者さんの賃金アップにもなれば」と、期待を込め話していました。

同施設の住所は川沿1-568-3。中は吹き抜けで、日差しが注ぎ込む明るい雰囲気。周囲の環境も落ち着き、席はソファ10席のゆったり気分を味わえます。

現在、ジェラートのフレーバーはイチゴや抹茶、チョコ、



マンゴー、パイン、パッションフルーツなど12種類を用意。お味もちろん自信あり。フレーバーは全20種類ほどを想定し、季節で替えていくといいます。地場産の割合はまだ少ないですが、「将来は多くのフレーバーを自前で」と張り切っています。価格も350円から450円とお手頃。営業は平日の10時~17時。



一間さんは「気軽な地域交流の場になれば」と願っています。詳細はみらいえホームページか電話(85-5500)で。

愛泉園地域交流企画「カシス狩り」

同園は白老産カシス栽培に取り組んでいます。カシスはブルーベリーの4倍のアントシアニンを含む健康フルーツといわれています。ソーダやジャムにどうぞ。

日時 7月14日(金)~16日(日)
9時~15時に随時受け付け

会場 同園(竹浦344-13)
参加費 中学生以上500円、小学生200円、幼児無料
特典 参加者1人に付き100gのカシスのお土産
※有料で持ち帰りも可能です(100g120円)。

詳細 同園 ☎87-3800

白老宏友会 地域共生型寺子屋事業 「カシス狩りとジャム作り体験」

日時 7月22日(土) 10時~12時
会場 川沿1の「はあもにい」ほか
対象 小学生
内容 カシスの実を収穫してジャムを作ります。
作ったジャムは持ち帰りできます。

参加費 300円(保険料など)
定員 10人(7月3日9時から受け付け開始)
申し込み 下記まで電話で。

詳細 「はあもにい」 ☎85-3100